



いよのいぶし銀

新年号

< 発行 >

公益社団法人
愛媛県シルバー人材センター連合会
松山実施事務所

所在地：〒790-0808 松山市若草町 8-3

電話：089-933-6911

派遣かわら版



巳年生まれのあなたへ

令和7年は巳年。現在の会員の方では、男性93名、女性55名が在籍しております。巳年生まれの特徴は、賢さと洞察力、物事を深く考え的確に判断できる。目標を諦めず、達成するまで努力を続ける粘り強さと冷静で知的な雰囲気を持ち人を惹きつける魅力があると言われます。巳年生まれの仕事運はその執着心、粘り強さで着実に成果を残していけるでしょう。知識を吸収したり、技術に磨きをかけたりする姿勢もあります。職場では誰よりも仕事に精通する可能性を秘めているので将来性はバッチリで仕事運には恵まれやすいと言われるようです。また金運に関しては、財布にへびの抜け殻を入れておくおまじないをご存じかと思いますが、へびは脱皮を繰り返して成長していく繁栄を象徴する動物で12日ごとに巡ってくる「巳の日」という吉日があるのですが、これも金運が高まる日です。もともと高い金運を持っていると考えていいでしょう。お金の使い方が慎重な面もあり、貯蓄することを好みますし節約も苦になりません。巳年生まれのあなた、ご自分を振り返って人生いかがだったでしょうか (N)

派遣スタッフの皆さまへ

新年おめでとうございます。

平素は、シルバー派遣事業へのご支援とご協力を賜り誠に有難うございます。

昨年を振り返りますと、元日に能登半島地震が発生し、8月には日向灘を震源とする地震により、初の南海トラフ地震臨時情報の発表、豪雨災害、記録的猛暑が続くなど、自然災害と気候変動に対する意識が高まる一年でありました。また、物価の高騰、人口減少・少子高齢化による労働力不足が進展するなか、社会、経済、人々の生活への影響が懸念されているところでもあります。

このようななか、当実施事務所では、派遣会員の「安全」と「健康」を最重点テーマとして、契約の適正化、待遇改善等に取り組んで参りました。労働災害においては、派遣会員の皆様、お一人お一人の意識と行動により、多発期と比較しますと減少傾向となっております。皆様のご協力に感謝申し上げます。

本年におきましても、派遣会員の「安全」と「健康」に関する取り組みを継続しつつ、派遣元事業主である愛媛県シルバー人材センター連合会との連携を図りながら、適正な派遣の推進に努めて参りたいと存じます。

本年も変わらぬご支援とご協力を賜れましたら幸いに存じますとともに、皆様のご健康と益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

公益社団法人愛媛県シルバー人材センター連合会
松山実施事務所長

衛生委員会報告

■第7回衛生委員会(令和6年10月28日)

1)産業医講話

腎臓の機能について

2)労働災害の発生報告について

令和6年9月に発生した労働災害2件(転倒・くじき)について報告しました。

3)派遣スタッフ会報誌「いぶし銀」の発行について

いぶし銀秋季号の内容確認及び発行スケジュールについて報告しました。

■第8回衛生委員会(令和6年11月25日)

1)産業医講話

歯周病と全身疾患について

2)労働災害の発生報告

令和6年11月に発生した労働災害1件(転倒)について報告しました。

3)労働災害の予防と防止に関する注意喚起・指導について

校務員代員業務及び他業務に従事する派遣会員に対して、注意喚起・指導文書を送付したことについて報告しました。(発送:令和6年11月18日(月))

4)安全指導の実施について

校務員代員業務における派遣先及び派遣会員に対する安全指導の実施予定について報告しました。(令和6年12月より適宜、実施。)

5)ストレスチェック・健康診断の実施状況について

ストレスチェック、健康診断の案内及び申込み状況について報告しました。

■第9回衛生委員会(令和6年12月23日)

1)産業医講話

ヒートショックに注意

2)校務員代員業務 安全指導の実施について

安全指導の実施状況について報告しました。

3)転倒事故に関する注意喚起の実施について

派遣会員に対して、転倒防止啓発ポスター、転倒予防・防止に関するリーフレットを送付したことについて報告を行いました。(発送:令和6年12月11日)

4)校務員代員業務の就業の適正化と安全確保に関する取り組み方針について

契約更新年齢の上限制導入に関するアンケート調査の結果を踏まえ、今後の取り組み方針について協議を行いました。

労働災害

労働災害の発生状況

事故型	内容	被害
転倒	給食車が到着したため、シャッターを開けようと、小走りで移動中、校舎と連絡通路の境界にある段差につまずき、転倒した (校務員代員業務・令和6年11月14日発生)	・頭部裂創 ・左手第2-第3指間部裂創

労働災害の予防・防止対策

<校務員代員業務における安全指導の実施について>

校務員代員業務において労働災害が多発していることを踏まえて、同業務に従事する派遣会員及び派遣先に対して、安全指導を実施しています。

今後も継続して実施して参りますのでご協力をお願い致します。

(実施内容)

時期:令和6年12月より、随時実施中

対象:75歳以上の校務員代員業務 派遣会員

□内容

- ・労働災害の防止に関する指導
- ・安全就業規則遵守の徹底
- ・注意喚起ポスターの掲示、安全標識の設置

(実施風景)



安全指導では、労働災害の発生状況の説明と転倒事故の予防・防止に関するお願い、転倒防止意識を高めるため、啓発ポスターの掲示、校務員室出入口の段差箇所へ安全標識を設置しています。

ヒートショックに注意！（第9回 衛生委員会 産業医講話より）

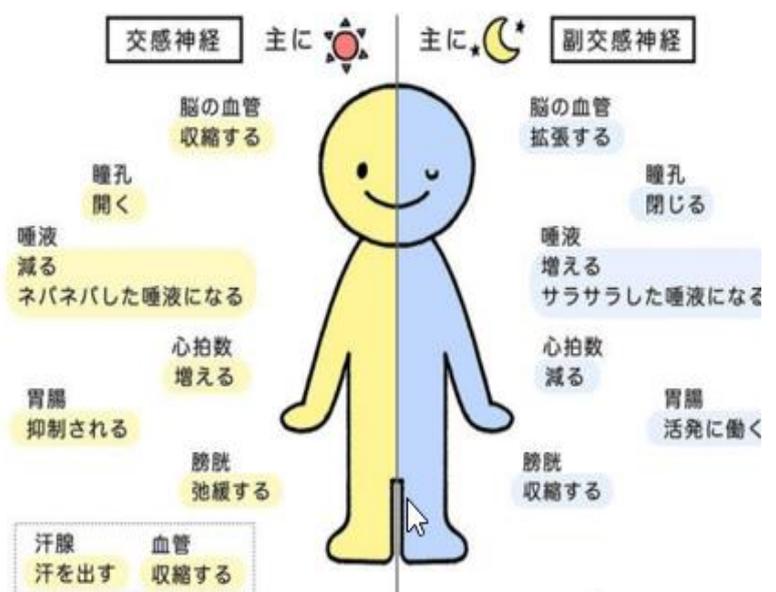
<ヒートショックとは>

「急激な温度変化に伴って生じる血圧の大きな変動による健康被害」のことです。

外気温が低い冬場は特にリスクが高い時期で、交通事故よりもずっと多くの方がヒートショックにより亡くなっていると推計されています。

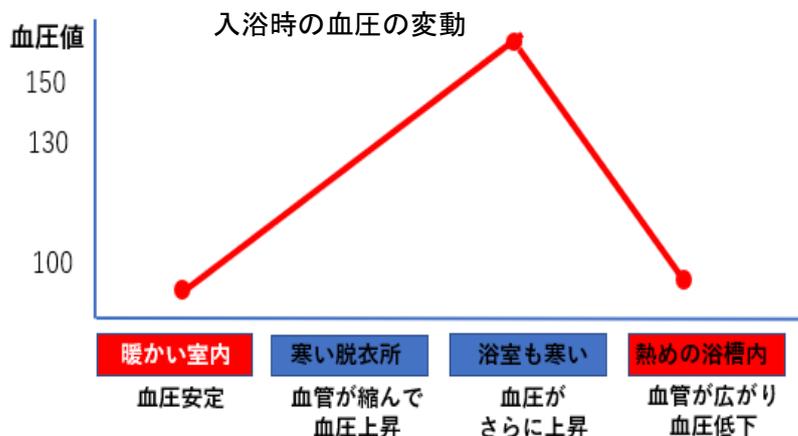
ヒートショックに対して正しい知識を持ち、健康被害を予防しましょう。

血圧は主に自律神経（交感神経と副交感神経）により調整されています。寒い場所では、体を緊張させる神経である交感神経が優位になり、血管が収縮して血圧が上昇します。一方で暖かい場所に行くと、体をリラックスさせる神経である副交感神経が優位になり、血管が拡張して血圧が低下します。外気温の急激な変化により、自律神経のバランスが崩れ、体調を崩してしまうのがヒートショックです。



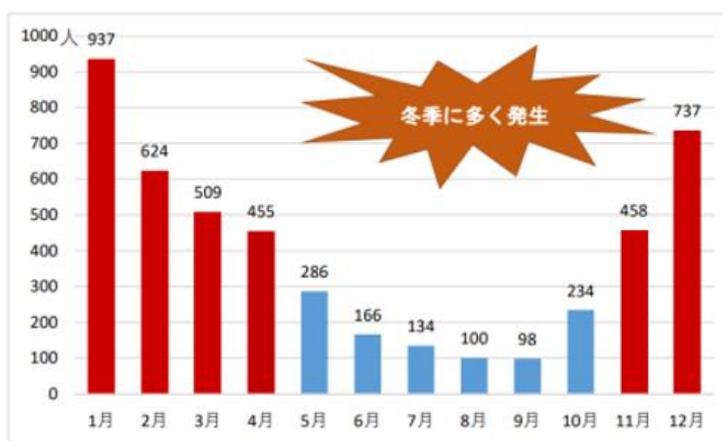
<入浴時の事故例>

- 冬場の脱衣所で血圧が上がり、脳の血管が切れてしまった。
- 飲酒後に入浴していたところ、血圧が下がりすぎて意識を失い溺死してしまった。
- 入浴後に急に立ち上がったところ、立ちくらみを起こして転倒してしまった。



<発生の傾向>

- ヒートショック関連の死亡者数（推計値）：年間17,000人
- 全体の5割は12月から2月にかけて発生。
- 死亡者の8割程度は高齢者が占める。



高齢者の「不慮の溺死及び溺水」による発生月別死亡者数（令和元年）

出典：総務省統計局「人口推計」平成31年1月1日（概算値）

<対策>

- 脱衣所をあらかじめ暖め、居室との温度差を小さくする。
- お風呂の温度をあまり高くしない。
- 入浴時はいきなり湯船に入らず、掛け湯をしてから入る。
- 入浴後は急に立ち上がらない。
- 寒い時期は浴室内で体を拭いてから外に出る。
- 大量飲酒後の入浴は避ける。

ヒートショックは入浴に関連した問題と思われがちですが、職場でも寒暖の差が激しいところでは同様の問題が起こる可能性があります。

また、高血圧や動脈硬化が進んでいる人は、より脳卒中や心筋梗塞に繋がりがやすく注意が必要です。

日々の体調管理や生活上の注意を怠らず、ヒートショックによる事故を予防しましょう！

校務員代員業務における就業の適正化と安全確保に関する取り組み

校務員代員業務における就業の適正化と安全確保を図る取り組みとして、契約更新年齢の上制限導入を検討していくことといたしました。検討を進めるステップとして、キャリアアップ講習会に参加いただいた、派遣会員の皆様にアンケート調査を実施いたしました。

本号では、アンケート結果の概要と今後の取り組みの方向性についてご報告いたします。また、アンケート調査では、派遣会員の皆様から、貴重なご意見とご要望をいただくことができました。ご協力ありがとうございました。

<アンケート結果概要>

□実施日：令和6年8月23日(金)／令和6年11月9日(土)

□対 象：校務員代員業務 派遣会員 88人

●設問1. 更新年齢の上制限導入の賛否について

「どちらかという賛成・反対」と明確な回答を避けた方が56人、全体の約67%を占める結果となりました。このことから、就業の適正化と安全確保に関する取り組みについて、何らかの対応が必要であることに一定の理解はあるものの、年齢で一律制限を設けることについては、疑問を呈される方が多いことがわかりました。

●設問2. 上制限を設ける場合の年齢について

※設問1で「賛成」、「どちらかという賛成」にチェックした方が対象

上制限を導入する場合の年齢については75歳と回答した方が多く、業務の適性年齢の上限を75歳と考えられている方が多いことがわかりました。

●設問3. 上制限の導入に「反対」、「どちらかという反対」に回答した理由

※設問1で「反対」、「どちらかという反対」にチェックした方が対象

反対理由では、働く意欲・能力、体力、健康状態には個人差があり、年齢で一律制限を設けることに対して否定的意見が多くありました。

●設問4. 上制限の導入に関する意見・要望について

上制限の導入以外で具体的な提案として、勤務評価、体力チェック、面談の実施により個々の能力と適性を判断する方法を検討してはどうかとの意見が多くありました。

<今後の取り組みの方向性>

アンケート調査では、更新年齢の上制限の導入について、年齢で一律制限を設けることには否定的な方が多く、個々の能力、適性等に配慮した対応をお願いしたいとの意見が多くありました。今後は更新年齢の上制限の導入を見直し、改めて問題と課題の整理を行い、派遣会員の皆さんから得た意見・要望を考慮して、新たな取り組み方針を検討して参ります。

令和6年度シルバー派遣事業 行事予定

<キャリアアップ講習会>

□施設保全業務キャリアアップ講習会

- ・開催日:令和7年2月15日(土)・16日(日)
 - ・開催場所:松山市ハーモニープラザ 3階 多目的室1
 - ・対象:施設管理業務(管理、清掃)に就労する派遣会員。
- ※開催前に対象派遣会員へ個別に案内文書を送付いたします。

<令和6年度 派遣登録者説明会>

- ・開催日:令和7年2月22日(土)
- ・開催場所:松山市ハーモニープラザ 3階 多目的室1
- ・対象:仮登録により、派遣就業中の派遣会員
新規で派遣就労を希望する会員

※令和6年度中に仮登録で派遣就業中の方には、改めて、実施事務所より参加をお願いする旨のご連絡をさせていただきます。